

1.はじめに

北陸建工グループは、鉄鋼構造物部材の製作を通じて社会に貢献し、社会に必要とされる企業を目指しています。情報セキュリティは、グループ各社の業務において不可欠な要素であり、事業継続および利害関係者の信頼に応えるために極めて重要な課題と捉えています。この基本方針に基づき、情報資産を適切に保護し、セキュリティリスクを最小化します。

2.情報セキュリティの重要性

北陸建工グループは情報資産を重要な第4の資産と位置付け保護・管理を実施します。今後IT技術活用およびDX推進を通じて事業を継続・拡大する基本とします。利害関係者から求められる堅牢なセキュリティを満たすことは事業における必須事項です。

3.情報セキュリティの確保

情報セキュリティを確保し、必要な施策を実施するために、社内体制を整備します。

この体制は、グループの情報資産を改ざん、破壊、漏洩などから保護し、法令、規制、規範、契約上の義務を順守するとともに、利害関係者の期待に応えるための管理策が含まれます。

これらの体制と管理策を文書化し、『情報セキュリティ規定』として制定します。

4.遵守と教育

情報資産を利用する者は、情報セキュリティの重要性を十分に認知し、『情報セキュリティ規定』を遵守しなければなりません。当グループは情報セキュリティに関する教育プログラムを作成し、グループ全社員が受講、知識と意識の向上を図ります。

5. 情報セキュリティ事故対応

情報セキュリティインシデントが発生した場合、速やかに被害を拡大させないための初動対応を行い、現状把握と被害の最小化に努めます。必要に応じて関係部門と連携し、再発防止策を講じます。また、法令や規制、社内規定に従い、利害関係者に対して適切な情報提供と報告を行います。

6.監査と改善

情報セキュリティの監査を実施し、適切な対策を講じます。継続的な改善を行い、情報セキュリティのレベルを向上させます。情報セキュリティ基本方針は、全社員に周知徹底し、運用していく中で定期的に改善し、より堅牢かつ社員が使いやすい高度な情報セキュリティ確保に努めます。

北陸建工グループ

代表 酒井 洋